

## 台湾民営企業上位として介護事業を展開し、高齢者に自主的で多様化した退職生活を提供する長庚養生文化村

「台湾の経営の神様」と言われている王永慶さんは1954年に台湾プラスチック社を創設し、台湾最大の民営企業グループとして発展させた。台湾プラスチックグループは台湾プラスチック社、南亜、塑化、台化等の大企業を傘下にプラスチック業を営んでいるが、その他にも光通信、自動車、バイオテイク、医療及び教育などの事業にも取り組んでいる。

長庚養生村(以下は養生村と略す)は長庚記念病院傘下の老人ホームである。養生村は高齢化社会を迎えている台湾において、長期的に入居率が向上することを見込んでいる。今回、養生村の統合計画を実行している長庚記念病院桃園分院黄美涓院長にインタビューをする機会頂き、養生村のビジネスモデルと外国との交流計画などについてお話頂いた。

### 養生村の概要についてお話し下さい。

「長庚」を見ると多くの方は養生村と台湾プラスチックグループの関係を連想すると思います。確かにその通りですね。創立者の王永慶さんは中国のことわざである「老吾老、以及人之老」(自分の両親、祖父母を敬うように、他の老人も敬えと言う意味)の理想を具体化するため、養生村の建設を計画しました。構想期間は10年にわたり、2002年から着工し、2005年に営業を始めました。総額は108億元で、現在まで60億元を費やしました。

養生村の全建設計画は4棟の建物で、既に建設したA棟、建設中のC棟以外、BとD棟の建設計画はまだ決まっていません。将来の市場状況を見て、建設計画を立てる予定です。現在の入居状況を見ると、A棟には全706室のうち、約200室、計238人が入居しています。建設中のC棟は全1,362室で、B、D棟を兼ねて計3,800室を所有しています。

現在養生村は34ヘクタールの広大な用地を持つ桃園県龜山郷にあり、普通の高齢者介護機構とは違い、保健、医療、養生、レジャー、娯楽等の施設もあります。健康で自己管理能力を身に付け、また文化伝



長庚記念病院 桃園分院 院長 黄美涓氏

承を踏まえたセカンドライフの発展機会も提供しています。「養生文化村」の名前はこうした意味から由来します。台湾で国内初の高齢者医療と介護を統合する機構とも言えるでしょうね。

現在入居者の中に軍人・公務員・教師が60%を占めていて、学歴では多くの方が大卒。平均年齢は77才で、性別は女性が51%、男性が49%です。

### 高齢者の介護方法を簡単に説明して下さい。

養生村に入居をご希望の方は、まず長庚病院の健康診断に合格しないとはいけません。つまり、自立して生活できることが合格条件です。養生村は老人ホームの形式で、60歳以上の高齢者に入居できる環境を提供しています。(入居条件は下記表1をご参照)

養生村に入居した場合、家族双方の負担を軽減し、本人、家族がお互いにより良い空間を持てると思います。また絵画、フィットネス、太極拳、京劇などのアクティビティーを通じて生活を活性化させるプログラムも提供しています。

クラブ活動以外に、養生村は緑化も重視しており、造林計画もあります。また斜面の異なる登山活動(低

台湾トップ企業紹介

酸素消費量と高酸素消費量で区別)を提供します。その他、有機菜園を作って、高齢者が立って栽培できる場所を提供しています。

表1 入居要件:

年齢	60才以上、配偶者年齢不問。
管理費	1DK(約14坪) 約1.8万円/月 2DK(約22坪) 約2.6万円/月 *上述は一人部屋で配偶者の入居は月に5千元が追加。
雑費	1. 食費 約4千元/月 2. 水道光熱費 月に実費負担 3. 保証金 一年分の管理費: 解約の際に利息なしで返還予定。

台湾の介護産業に対して何を期待しますか？

今年は戦後ベビーブーマーが定年退職の初年度に当たっており、65才以上の高齢者は全人口の約10%を占めて、計約230万人と言われていています。この中で、約30万人の高齢者は介護機構や外国人労働者による介護を受けていますが、他の200万人高齢者のほとんどは女性労働者によって介護されています。台湾において女性は社会的地位は未だ低く、男性よりも能力を発揮しにくい環境にあると思います。しかし全人口の半分にあたる女性の多くは生産活動に従事しており、その力は国家の競争力に大きな影響を与えます。上述した問題は台湾介護産業の普及にはボトルネックと言えます。しかし私はその伝統観念を打ち破ることを期待しています。それによって台湾介護産業の発展と共に、国家経済の繁栄も図れるでしょう。

外国人の入居計画についてご説明していただけませんか？

コミュニケーションの問題があるため、現在養生村は外国人の入居をまだ受け入れておりません。し

かし、中国語を話せ、会話に何ら差し支えない外国人なら、1~2年の長期滞在(Long Stay)を歓迎します。

また、日本人で入居することに興味をお持ちになられた方は約20人の短期滞在訪問団及び体験入居団としての滞在が可能です。(体験入居費用は下記表2をご参照)

表2 体験入居費用

1DK	一人	950元/日	食費は別途負担
2DK	一人	1,350元/日	

養生村も文化交流促進のため日本人材を招聘、通訳出来る人を募集しています。条件は下記の通りです。

1. 中国語を話せる人
2. 異国の体験に興味を持つ人
3. 60才以上の高齢者

その日本人材に対しては家賃の軽減や免除を提供する予定です。通訳と接待以外にも駐在教師の立場で両国の文化交流にも促進して頂ける方は大歓迎です。

将来実施予定の計画を教えてくださいませんか？

将来台湾中南部の高齢者にもニーズがある場合は、嘉義地区への建設も検討します。嘉義地区には16.5ヘクタールの土地を所有しており、国立博物館南院に隣接しているため、国立博物館を組み合わせるとの体験活動が可能です。

また、入居ニーズが増え、台湾の伝統観念も変化すると、他地域での建設も検討します。

他企業も介護市場に参入して、全ての高齢者が健全に介護されるのが我々の理想です。

ありがとうございました。